

令和2年度 学校図書館 全体計画

小笠原村立小笠原中学校

小笠原村教育委員会 教育目標

《目指す子供像》

- ・互いの人格を尊重し、思いやりの心と規範意識をもつ子供
- ・社会の一員として、社会に貢献しようとする子供
- ・自ら学び考え行動する、個性と創造力豊かな子供

生徒の実態

- ・図書環境整備、ルール、マナーの徹底を継続して行っている。
- ・朝読書を通して、読書の機会が設けられ、本に触れることができている。
- ・各教科、調べ学習での本の活用方法が定着していない。

学校教育目標

- ・よく学び、考え、行動する人
- ・やさしくたくましい人
- ・社会の一員として貢献できる人

育てたい生徒・・・「グローバルな視点で物事を考え、行動できる生徒」

- ・物事を客観的な資料等に基づいて多様な視点から考え、自信をもって自らの意見や主張を発表できる生徒
- ・自らを冷静に見つめ、人の気持ちや立場を深く考えながら、公正な判断に基づいて行動できる生徒
- ・自らの力をより高く伸ばそうとする向上心を持ち、その力を進んで地域や社会のために役立てようとする生徒

学校図書館の目標

- ・自ら調べ、学ぶ意欲を育成する。
- ・読書を通して豊かな心をはぐくみ、思いやりの精神を育てる。

指導の重点

- ・学校図書館の指導を活用した、教科等の学習の充実と情報活用能力の育成を図る。
- ・読書活動を充実させ、学校全体の読書量を増やす。

各学年の重点目標

- 1年…図書室の利用方法を身に付け、進んで利用する。読書の楽しみを見出す。
- 2年…調べ学習等で、情報活用能力を高める。読書を通して物事の幅広い分野へ感心をもつ。
- 3年…キャリア教育、進路学習等での活用を広め、目的に応じた利用ができる。

具体的な取り組み

- 《各教科》
調べ学習、グループ活動、資料の活用、個別指導等に活用する。
- 《総合的な学習の時間》
情報活用能力を育成し、課題の解決や探求に自主的に取り組む。
- 《読書活動》
日々の朝読書における、読書の習慣化を図る。
課題図書、推進図書を提示し、推進を図る。
- 《特別活動》
委員会活動を通して、自発的な図書室の運営、読書推進活動を目指す。
- 《道徳科》
道徳授業における資料の提供、関連書籍の充実を図る。
- 《キャリア教育》
進学・進路選択における資料の提供、職業や資格等、関連図書の充実を図る。

令和2年度 学校図書館 指導計画

小笠原村立小笠原中学校

月	教務 図書	図書 行事	学級等の指導	委員会活動	
4	図書運営・指導計画 基本方針の策定		【年度当初】 ・図書室の利用方法 ・本の貸し出し方法 ・本の返却方法 ・図書室内の配置 ・学級文庫設置	【年度当初】 ・役員決定 ・当番決定 ・貸出カード整理 ・委員会指導	図 書 便 り の 作 成
5	学級文庫 前期リクエスト 前期図書注文	前期リクエスト			
6	課題図書購入と推進 夏休み推薦図書購入と 推進				
7		夏休み おすすめ本紹介	・当番活動 ・1学期反省		
8	蔵書管理 図書整備				
9			・後期役員決め ・当番活動		
10	読書推進の取組	読書月間 読書週間	【通年】 ・朝読書推進 ・本のリクエスト ・調べ学習の活用 ・読書推進活動	・当番活動 ・読書推進ポスター	
11	後期リクエスト 後期図書注文	後期リクエスト		・当番活動 ・リクエスト本アン ケートの実施、集計	
12	蔵書管理 図書整備	冬休み おすすめ本紹介		・当番活動 ・2学期反省	
1	学校評価			・当番活動	
2	次年度にむけての運営 計画の検討			・当番活動	
3				・当番活動 ・年間反省	